



オオクワガタの棲(す)める森づくり下刈体験イベント

←樹名板設置！
↓下刈り体験中



図鑑で調べて、樹名板づくり

【箕面森林ふれあい推進センター】^{かやの}7月9日(火)、箕面国有林において箕面市立菅野北小学校6年生66名を招いて「オオクワガタの棲める森づくり下刈体験イベント」を開催しました。

梅雨も明け、夏本番を迎え朝から蒸し暑さを感じる天候のなか、午前10時に児童や引率の先生方が到着しイベントがスタートしました。

午前中は、「オオクワガタの棲める森づくり」箇所での林内散策と下刈り体験です。子どもたちは6班に分かれて、植樹した苗木の生長、防鹿柵の様子、林内と林外の気温の差、伐採したあとの植生の移り変わりなどを、リーダー役の局や京都大阪所の職員の説明を聞きながら見て回りました。植樹箇所では、3年前に自分たちで植えたクヌギやコナラが大きく育っているのを見て「あー、大きくなって」と触って生長を確かめてみたり、記念標柱の前ではメッセージボードの文字を懐かしそうに見入っている子どもたちもいました。

下刈り体験では、まず日本森林ボランティア協会の方から下刈鎌の使い方や、なぜ下刈りをするのかななどを説明した後、実際に鎌を使って下刈りを行いました。子どもたちは「簡単に切れた。」「うまく切れないけど頑張った。」など感想も様々でしたが、炎天下のなか元気な歓声が響いていました。

昼食後は、樹名板の設置の体験です。各班毎に、箕面市のボランティア団体の方々案内されて目的の木に向かいました。それぞれの班では、五感を使って、葉の形や、葉の付き方、においや木の肌の色など特徴を見つけては記録係が書き留めていきます。まずは、調べた特徴などから自分たちで名前を考えます。その後、本当の名前を樹木図鑑で調べます。その後の発表用の見本に、枝を少しばかり取って「青空教室エリア」へと向かいました。

ここで各班毎に、自分たちの調べた木のおい特徴、命名した木の名前、本当の木の名前など元気な声で発表していきます。「ゴマシュー」と命名した木の名前について、普通はくさいとだけしか思わないところを、おいがゴマに似ていたからこの名前にしたなど、子どもの感性には驚かされました。(本当は「クサギ」)

当日は猛暑となり、子どもたちの熱中症なども心配されましたが、交代で何回でも下刈りをする子どもがいるなど、準備したメニューの中では下刈りが一番人気があったようでした。

盛り沢山のイベント体験となりましたが、子どもたちにとって、この日の経験が、森林や林業への興味につながっていくことをスタッフ一同願いながら会場をあとにしました。

第8回

「極楽の森をよみがえらせよう」開催

【和歌山森林管理署】 7月6日（土）、高野山国有林において極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会主催（事務局：南海電鉄）による第8回「極楽の森をよみがえらせよう」が開催されました。

このイベントは、「世界遺産・高野山」の玄関口にふさわしい極楽橋周辺の豊かな自然景観を取り戻し、訪れる観光客にすばらしい景観を楽しんでいただくため、平成21年から国有林をフィールドとして「社会貢献の森における森林整備等ボランティア活動に関する協定」を和歌山森林管理署と極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会との間で締結し、森林ボランティア活動をスタートしたものです。

当日は、地元の高野町をはじめ、一般公募による森林ボランティアが県内、県外から13名参加され、当署職員を含め総勢52名が参加しました。



各エリアに分かれて作業

開会にあたり南海電鉄及び実行委員会の挨拶後、オブザーバーである当署の署長から「前日降った雨のおかげで刃物の切れ味も良いと思われますので、安全に十分気をつけて、熱中症予防の観点からこまめに水分補給しながら作業してください」と挨拶がありました。

その後、高野森林事務所地域統括森林官から刃物の使用説明を受け、参加者はそれぞれの作業エリアに移動し、平成22年3月に植栽したモミジ周辺の下刈りや、つる切り作業をなれない手つきで汗をタオルで拭いながら約1時間、実施しました。



下刈りをする参加者

作業終了後、周囲がきれいになったモミジを眺める参加者の笑顔が印象的でした。

当署では、同実行委員会と連携しながら、これからもこの森林イベントを継続し、極楽橋周辺の豊かな自然を守り育てていくこととしています。

これからこの森林イベントを継続し、極楽橋周辺の豊かな自然を守り育てていくこととしています。

「国民の森林」クリーン作戦

～江の川源流で実施～

【広島北部森林管理署】 7月17日（水）、「国民の森林」クリーン月間中に広島北部森林管理署及び安芸高田市との共催で、江の川の源流に位置する犬伏山国有林とその市道の周辺において、不法投棄されたゴミ等の清掃活動「クリーン作戦」を実施しました。一般参加5名、森林ボランティア団体「びほく森のサポーターズ」2名、広島県OF会13名、署員9名総勢29名が参加し、署長挨拶の後、作業を開始しました。



不法投棄されたゴミを拾う参加者

当日は梅雨明け間もなく、蒸し暑い炎天下のなか汗をかきつつも熱中症に十分注意しながら、皆で協力して空缶や弁当の空箱、炊飯器、テレビ、自転車などを回収しました。思った以上のゴミの量に驚きの声をあげながら午前中で700kgもの不法投棄ゴミを拾い出し、2tトラック山盛りに積み込みました。



トラック山盛りになったゴミ

閉会式ではきれいになった国有林を背景に集合写真を撮影し、無事にクリーン作戦を終えることができました。今後とも、地域の方々と連携しながら、不法投棄の撲滅に向けて取り組んでいきます。



きれいになった国有林で集合写真
暑い中お疲れ様でした。

※ OF会とは、森林管理局、署を退職した職員の組織

林業専用道現地検討会開催

【奈良森林管理事務所】 7月24日（土）、奈良森林管理事務所管内野迫川村の^{のせがわ} 股^{ひのきまた} 国有林において、奈良県との共催により「林業専用道現地検討会」が開催され、県内の民有林での路網開設推進のため、県や各市町村の土木担当者など専門的な実務を担当する職員36名が参加



しました。検討会のフィールドとなった^{のせがわ} 股^{ひのきまた} 国有林は、民国連携事業として、森林共同施業団地に設定しており、

県内市町村から参集した担当者 民有林と国有林が連携して林業専用道を幹線林道に接続させることにより、施業の共同化や森林整備の効率化を推進することとしており、奈良森林管理事務所が県内初の林業専用道として開設しています。

現地では当所の総括治山技術官より路線選定の考え方や、工種の選定理由など専門的な説明がされた後、参加者からは、県内南部の山間部は紀伊半島特有の急峻な地形や降雨量が多いなど、林業専



説明を受ける参加者

用道開設には困難な条件があり、いかに壊れない道を作設し、効率的な森林整備を図ることができるかといった観点から熱心な質問が出されました。

午後からの意見交換会では、林業専用道の開設のほか、森林共同施業団地の設定に関する質問や、今後の事業計画、施業の共同化などに関する質問が出るなど、森林・林業の再生に向け、活発な意見交換が行われました。

オオダイガハラサンショウウオ学習会

【三重森林管理署】 7月29日（月）、三重県多気郡大台町の大杉谷国有林において、天然記念物オオダイガハラサンショウウオの保護を目的に、関係機関が共同で生態等に関する学習会を開きました。

この学習会は、三重森林管理署、三重県教育委員会、三重県農林水産部が平成21年度から毎年度開催しているもので、当日は三重県内の市町をはじめ和歌山県教育庁や奈良県御杖村^{みつえ} 教育委員会からの参加もあり、総勢約30名の関係者が、約1時間程かけて生息の確認調査を行いました。



生息の確認調査

昨年度の調査では、6個体の幼体しか確認できなかった場所でしたが、



個体調査中

今年度は44個体を確認することができました。個体のほとんどは幼体でしたが、中には成体に近いと思われるものもいるなど、オオダイガハラサンショウウオが繁殖している状況を確認することができました。

今回の成果も受け、引き続き情報を蓄積していくことが大切であることから、今後も現地での学習会を継続していくこととしています。

オオダイガハラサンショウウオは、三重県指定天然記念物として平成21年に保護管理指針が策定され、当署では治山事業等において、生息に配慮した工法への転換を図るなどオオダイガハラサンショウウオの保護管理に協力しています。



オオダイガハラサンショウウオ

**クリーン月間に不法投棄物回収作業に汗
～黒河山・北潟国有林～**

【福井森林管理署】 7月10日(水)、30度を超える暑さの中、敦賀市内にある黒河山国有林で、市民団体、職員、署OBら21名が参加して、林道脇に投棄してあった生活ごみ、バーベキュー用品、タイヤ、空き缶、空き瓶など廃棄物を2t車一台分回収しました。



林道のゴミ拾い

毎回参加しているOBからは、「随分ごみが減ったね。」との声、初めて参加する人からは、「黒河のきれいな自然を守りたいね。」と、継続して取り組んできた喜び、敦賀市の奥座敷となっている黒河山国有林をきれいに守りたいとの気持ちが伝わってきました。

この日の市民と連携した作業は、地元敦賀市の廃棄物対策課職員や「つるが環境みらいネットワーク」に松原



黒河山に参加の皆さん

また、7月14日(日)にはあわら市の北潟国有林の境界付近で、地元自治会、北潟の森協議会、当署の職員及びOBの26名が参加し、不法投棄ゴミの回収作業を行いました。

当日は、時折強い雨に見舞われましたが、土に埋まっているゴミをスコップで掘り起こしたり、邪魔な蔓を取り除き、土に埋まるゴミを掘り起こし回収ビヤタイヤ、農業用ビニール、流し台など軽トラック3



台分を約2時間かけて回収しました。

ゴミは富津集落センターに集め、後日、あわら市で処理してもらいました。



北潟に参加の皆さん

**特設!!夏休み子ども「消費者の部屋」
～近畿農政局と共催～**

【京都大阪森林管理事務所】 7月25日(木)・26日(金)の2日間、京都農林水産総合庁舎内において、『食べものと農林業について考えてみよう!!』をテーマに、「特設!夏休み子ども『消費者の部屋』」を近畿農政局と京都大阪森林管理事務所の共催により開催しました。これは、小学生を対象に「食と農林業」をめぐる状況や施策について強く関心を持ってもらうために、展示や体験コーナーを通じて、毎年情報発信しているものです。

当所は、木に触れて木の良さを感じてもらうため、近畿農政局より5名、当所より12名、インターンシップの学生2名のスタッフで「夏休み親子木工教室」を開催しました。京都市内ほか宇治市、亀岡市からの応募もあり、2日間で80名の親子に参加していただきました。

所長からの、木の持つ特性や国産の木を使うことの必要性について挨拶した後、森林技術指導官による刃物な



熱心に作成中!

ど道具の使い方に関する安全指導を行い、いよいよ作業スタートです。

開始直後1人の子が何やら紙を広げて思案顔、なんと設計図を用意してきたのです。子ども達はやる気満々で、早速材料コーナーに直行です。鋸で木を切る子、釘を打つ子、釘を抜く子、キリを両手で上手に回す子、剪定バサミに力を込める子、ボンドで紐を貼り付ける子、木の裏の狭い面にマーカーペンを走らせる子、また、加工コーナーで糸鋸、鋸、電気ドリル、ホットボンド等でスタッ

フに自分の作品を加工してもらおうときの見つめる目、どの子も真剣そのもので、思わず引き付けられます。

息子が道具を使うときに手を添えるお母さん、娘の作品に合わせてフレームづくりを考えるお父さん、父子で肩寄せ合って相談する姿や、共同作業でポンド付けをしてニコニコ顔の母子など、ほほえましい場面がいっぱい！少し表情がなかった子が、諦めかけた鋸切りで薄い板を切り終えた達成感のせいか、それからは積極的にスタッフに相談し

にくる姿にこちらも嬉しさを隠せません。作業時間の二時間はあっという間に過ぎ、



作品を手にパシャリ！

板材、輪切り材、どんぐり、小枝、松ぼっくり、木の実など用意された材料を利用して、思い思いの想像力豊かな作品が出来上がり、最後に撮った記念撮影では、どの子も満足そうな得意げな表情が印象的でした。解散時には、自分の作品を大事そうに袋に入れ、「ありがとうございました！」と元気に帰って行く姿は、こちらにも達成感を与えてくれました。

今回の木工教室が、子供達にとって、夏休みの良き思い出として、また森林の大切さや木の良さを知る良いきっかけとなってくれば幸いです。



【島根森林管理署おおしど】 7月27日（土）、社会貢献の森として協定している大志戸国有林の連合島根「ふれあいの森」において森林教室を開催しました。

当日は、朝から強い雨が振り天候が心配されましたが、参加者（子供34名、大人39名）が会場に到着する頃には晴れ間が見え始め好天に恵まれました。

午前中の自然観察会では、みんなで林道を歩きながら「夏の日差しを木々がさえぎってくれるおかげで涼しい」「森の中は川が流れる音、鳥の鳴き声等いろいろな音がする」等と普段あまり触れることの出来ない風景や森林の中の音など五感をフル回転させながら自然と触れあっていました。子供達は、時折現れるトンボや蝶に感動したり、大きな葉っぱでお面を作ったり、「この実は何の木



葉っぱ仮面's

の実？」「笹舟はどうやって作るの？」と講師役の職員に質問しながら歩き、お気に入りの葉っぱや

笹舟を手に、森林からの様々な贈り物に興味津々の様子でした。

自然観察の次は、沢をせき止めて作った自然の生け簀でニジマスとヤマメのつかみ取りに挑戦しました。子供たちは早々水着に着替え川に入り、「水が冷たくて気持ちいい」「魚が足に当たってくすぐったい」等と歓声をあげながら約100匹の魚と格闘しました。せっかく捕まえた魚が手から滑り落ちたり、岩の隙間に隠れた魚に手こずったりと、なかなか捕まえることが出来ず苦戦しまし



魚をつかみ取り

ましたが、次第にコツを覚え見事捕獲していました。捕まえた魚は大人が竹串に刺し炭火で塩焼きにしてみんなで美味しく頂きました。

午後からは職員による森林教室と紙芝居で森林の大切さを学びました。クイズにも笑顔で手を上げ大きな声で答えていました。その後の木工教室では、竹を利用した風鈴、ヒノキの板、ナツツバキの輪切りを利用したキーホルダー掛け作りに取り組みました。感性を活かした個性豊かな作品が出来上がりました。出来上がった竹の風鈴の優しい音色がする中で、それぞれの作品を手に参加者は満足した様子でした。



竹の風鈴の音色と木工教室

家族単位での参加がほとんどで、夏休み最初の家族の思い出となり、家庭内でも自然の中の体験等を思い出して森林、林業に興味をもってもらえればとの願いをこめて閉会しました。

平成25年度 国有林モニター会議 (第1回・兵庫県)の開催

【総務企画部 企画調整課】 近畿中国森林管理局では、国有林について地域の皆様の理解を深めていただくとともに、双方向の情報・意見の交換を図り、ご意見やご要望を国有林行政に役立てることにより、開かれた「国民の森林」にふさわしい管理経営を行うことを目的として、管内 68 名の方に「国有林モニター」をお願いしています。

このたび、7月31日(水)に10名のモニターのみなさんの参加の下で、今年度第1回目の国有林モニター会議として、兵庫森林管理署管内の国有林で行っている治山事業や森林整備事業の現地見学及び意見交換を実施しました。

はじめは、
けいろうさん
鶏籠山国有林(たつの市)で、急傾斜の国有林の直下に民家がある箇所での治山事業を見学しまし



鶏籠山国有林での治山事業説明

た。約30～40度の斜面の中腹に施工されたロープネット工によって、山崩れや落石を防止し、市民の生命や財産を守る取組みを説明しました。

また、移動の車中では、二ホンジカの被害が話題になり、森林の表面侵食防止への取組強化やジビエ料理を活用した積極的な広報活動推進などのご意見・ご要望をいただきました。



ツリーシェルター施工状況
植付箇所を見学し、森林施業の低コスト化等を説明しました。

モニターのみなさんの中には、山頂から裾野まで広がる人工林の一斉林に驚かれた方が多く、また、シカ等による獣害から植栽木を保護するためのツリーシェルターやコンテナ苗などに関心が示され、それぞれの実物を手に取り、ツリーシェルターの設置方法、普通苗との違いや植栽方法及び費用対効果等についての説明に熱心に耳を傾けていただき、低コスト造林の試験地での成果が出

ることへの期待とエールをいただきたく場面もありました。



兵庫森林管理署へ場所を移しての意見交換では、

意見交換会の様子

- ・ 近年の異常気象による土砂災害などを踏まえた治山事業等が必要ではないか
- ・ 持ち主が不明で荒廃していく山林の管理には、国有林が積極的に関わっていくことが有効ではないか
- ・ 子供の頃から森林環境教育が重要であり、出前授業などにより学校の授業と一体的な取組を進めてはどうか
- ・ 木材利用ポイント制度は、消費者にはほとんど伝わっていないと思われ、もっと積極的なPRを行うべきではないか
- ・ 民間の林業経営は非常に厳しい状況で、林野庁が取り組んでいる「森林・林業の再生」についても疑問を感じている。是非、儲かる林業の経営モデルを作成のうえPRして欲しい

などについて、予定した時間を超過して活発な意見交換が行われました。今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望を今後の国有林野の管理経営に反映させるよう努めていきたいと考えています。

*用語の説明

- ・ロープネット工～浮石や転石が落下する恐れのある斜面に、ワイヤーロープを格子状に交差させて覆い固定し、落石を未然に防止する工法
- ・ジビエ～フランス語で、食材として捕獲した野生鳥獣のこと
- ・低コスト造林～地持ちえや下刈回数省略によるコスト削減を図る造林方法
- ・コンテナ苗～マルチ・キャビティー・コンテナを用いて生産された土付きの苗木で、植栽が簡易でかつ初期生長が早いことから下刈経費や植栽経費の削減ができる苗木
- ・ツリーシェルター～鹿等による獣害から植栽木を保護するための筒。雪による根曲がり防止し、植栽木の初期生長を促進させる効果が期待できる

お知らせ

第30回夏休み木工教室「リラックスチェア」作り

和歌山森林管理署では、毎年夏休みに田辺市及び近隣の5・6年生を対象に木工教室を開催しています。

日時 平成25年8月27日(火曜日)

場所 和歌山森林管理署 1階 会議室

参加対象 田辺市内及び近隣の小学5・6年生

定員 先着30名(定員になり次第締め切りさせていただきます)

申し込み方法 平成25年7月22日(月曜日)から電話にて受付しています。(午前9時から午後5時まで土曜日・日曜日除く)

詳しくは、和歌山森林管理署ホームページ内

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/wakayama/information/event.html>

宮川源流 大杉谷の「木々とシカとの共生」を求めて

三重森林管理署では、これ以上シカの食害被害が拡大することを防ぐための活動の一環として、トウヒなどの樹木にネットを巻く作業を行うボランティアを募集しています。

開催日：平成 25 年 9 月 28 日（土曜日）

開催場所：大台ヶ原（大杉谷国有林）

参加費：71 円（保険代）

募集定員：先着 20 名

申込期限：平成 25 年 9 月 13 日（金曜日）

ただし、定員になり次第締め切ります。

申込方法：電話または FAX

受付時間：平日 8 時 30 分～ 17 時 00 分

詳しくは、三重森林管理署ホームページ内

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/mie/information/2013oodaigahara_volunteer.html

「春日奥山古事の森」～木造建築の技術継承～

奈良森林管理事務所では、「古都奈良のまち並みと木造建築」シンポジウムと町並み探検を行います。

今年度は古都奈良の一部を構成する「ならまち、きたまち」の町家、町並みを支える木造建築をテーマにシンポジウムを開催します。

開催日時：平成 25 年 9 月 22 日（日）

場所：奈良女子大学 記念館

募集人数：200 人（先着順）

参加費：500 円／人

お申し込み方法：FAX、ハガキ、Eメールにて受付中

申込期限：9 月 10 日（火曜日）

詳しくは、奈良森林管理事務所ホームページ内

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/information/h250922kojinomori.html>

森林のギャラリー(局庁舎1階)

【8月の展示スケジュール】 イベント月間

8/3～8/10 「五番街作品展 in 大阪」

【ドールハウス五番街】

8/12～8/22 「近畿中国森林管理局（森林環境教育）」

【局技術普及課】

8/12～8/22 「秘境大杉谷の自然」

【大杉谷登山センター】

8/12～8/22 「信州の森林（もり）を次世代へ」

【長野県 信州の木振興課】

8/23～8/26 「もり（森林）のつどい2013」

【ピノキオ絵本で遊ぼう会】

8/27～8/30

≪ギャラリー・展示ボックスともに利用団体を募集中です≫

「森林の調査隊!! フォトコンテスト」作品募集!!

箕面森林ふれあい推進センターでは、「森林（もり）の調査隊!! フォトコンテスト」の作品を募集しています。
募集ジャンル

1. 「森林の動植物（植物・昆虫・動物）」部門（小学生・中学生）

2. 「森林と人との関わり」部門（中学生・高校生・一般）

募集締切：平成 25 年 10 月 31 日（木曜日）必着

応募作品

A4 版カラー印刷写真（デジカメ・携帯電話端末などのデジタル写真）3 枚 1 組を 1 作品とします。（※未発表作品に限ります）

応募方法

応募票に必要事項を記入し、応募写真の各写真ウラ面に貼付し郵送してください。

応募作品の取り扱い

応募作品及び入賞作品の著作権は主催者に帰属します。主催者が主催・共催・協賛・後援する展示会等及び印刷物や WEB サイト、出版物等に無償で掲載することがあります。応募作品は返却いたしません。応募作品の取り扱いには十分注意しますが、万が一の事故に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

本フォトコンテストの応募作品に記載される個人情報は、本フォトコンテストの運営に必要な範囲で利用します。

詳しくは、箕面森林ふれあい推進センターホームページ内

http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/morinochousatai.html

花草木

今号は、サルスベリです。

7 月～9 月と長期間にわたって咲き、8 月 5 日や 29 日の誕生花にもなっている『夏』のイメージのある花木。

『雄弁』や『愛嬌』などの花言葉がついています。

サルスベリ、猿滑。

幹がツルツルしていて、猿も滑るところからついたとも言われています。

また、花期が長く百日も紅く咲き続けるように見えるところから『百日紅』とも書かれます。

英語名は「Crape myrtle」

ギンバイカ(myrtle)の花に似て、花卉がちりめん(crape)の様だからだそうです。

(私的には、そんなに似てるようには・・・ギンバイカの花弁はツルっとしているように思えます(^_^)?)

ピンクのフリルが(愛嬌のある?) かわいい花木です。

シリーズ 保護林 第3回

近畿中国森林管理局の保護林

かめだに

亀谷ツガ・ブナ植物群落保護林 [紀南森林計画区]



ブナ大木



保護林遠景



亀谷ツガ・ブナ植物群落保護林は、和歌山県田辺市に位置する亀谷国有林にあります。紀伊地方を代表するツガ・ブナの高齢級天然林を保護することを目的とし、ツガ、ブナを保護の対象としています。

この保護林の面積は215.81haで、水源かん養保安林、カモシカ保護地区にも指定されています。

保護林の北西側に位置する城ヶ森山(1268.8m)では登山道が整備されており、休日には登山者が訪れています。

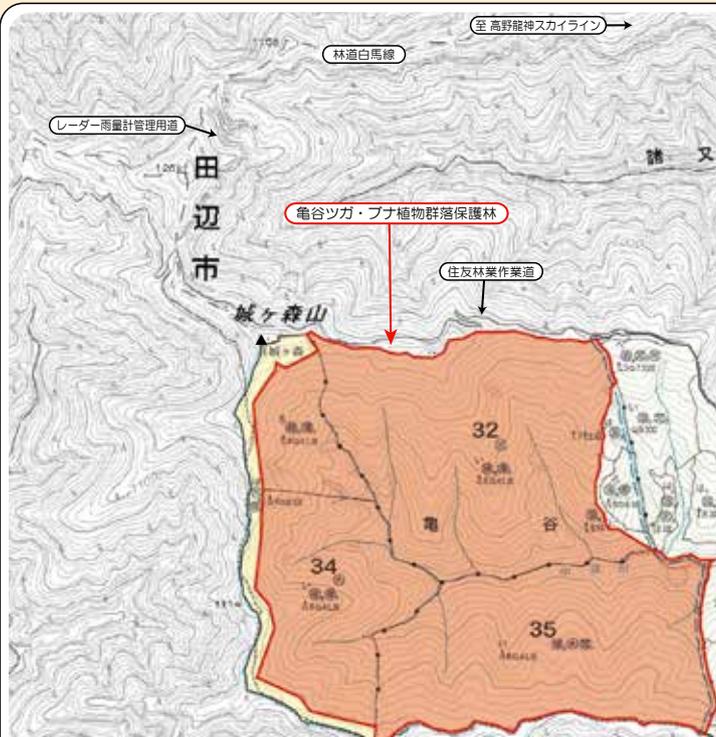
【亀谷ツガ・ブナ植物群落保護林に生息・生育する動植物】

◎植物:モミ, ツガ, ブナ, ミズナラ, イヌブナ, アカシデ, アオハダ, コハウチワカエデ, リョウブ, ヒメシャラ, ネジキ, アセビ, トサノミツバツツジ, シキミ, オオカメノキ, ヤシャビシャク, イワガラミなど

◎動物:ニホンザル, ニホンジカ, ツキノワグマ, イノシシ, タヌキ, アナグマ, マムシ, ニホンヒキガエル, エゾハルゼミ, ムカシトンボ, マルガムシ, オオセンチコガネ, セダカテントウムシダマシ, タカハヤなど

【亀谷ツガ・ブナ植物群落保護林へのアクセス】

◎高野龍神スカイランから・・・民有林道白馬線、城ヶ森山のレーダー雨量計管理用道を経て、住友林業作業道からアプローチ。



【保護林及び国有林内での注意事項】

- ★国有林内の動植物の捕獲、採集はできません。
- ★国有林内では火気厳禁です。林内では禁煙にご協力ください。
- ★自然環境の保護と安全な利用のために、歩道等を外れないようにお願いします。
- ★林道は幅が狭い未舗装の所がほとんどです。落石の危険性もあります。注意して通行してください。